



寿都町



漁船乗船体験



外国人ツアー客（台湾）による地引き網体験

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール応募団体 寿都地域マリンビジョン協議会 【寿都町】

目指せ！『寿都・後志ツーリズム交流文化圏』の形成

はじまりは？

寿都地域は、日本海に面する水産業を核とした地域で、山・川・里・海がコンパクトにまとまった自然豊かな環境ですが、若者の流出と過疎高齢化の進行、水産資源の減少、漁獲量の低迷、就業者の減少などの課題を抱えていました。

本協議会は、自然と共生した生活・文化といった漁村地域固有の資源を活かし、「水産業他既存産業との連携」、「新たな交流関連産業創出」など経済波及とともに、地域の“元気”を創出することを目的に、平成18年3月に設立されました。

おもな活動

本協議会では、漁業や海の体験交流事業に加え、優れた自然環境である寿都湾の漁場環境の維持・保全対策を進めています。

具体的には、①修学旅行生・一般客（外国人ツアー含む）を対象とした漁船乗船体験や地引き網体験、②「すつつ浜直市場」の開設と加工体験の充実（H27年、修学旅行生等1300人）による観光型漁村の形成、③修学旅行生の民泊による地元の活性化、④藻場の保全・再生や磯焼け対策としての「海の森づくり」、⑤地域景観づくりのため、国道沿いの植栽活動等を実施し、「寿都・後志ツーリズム交流文化圏」の形成（H18.3策定）を目指しています。



すつつ浜直市場の開設（H27）



国道沿いのマリーゴールド植栽

ここが自慢

【漁場環境の回復への継続的な取組】

海藻が生い茂った「海の森」は、海の生物環境に最も重要であり、藻場の保全・再生、磯焼け対策として地域で発生する水産加工残渣に木材チップを混合し、ペレット化した施肥を継続（H23～）して投入しています。その結果、海域はウニやあわびが生息し藻場が再生してきています。



磯焼け現象（海の砂漠化）



磯焼け対策後、再生した海（藻場）の状況

連絡先

代表者名：木村 親志さん／設立：2006年／会員：14名

住所：寿都郡寿都町字大磯町20番地先（寿都漁協）

電話番号：0136-62-2602(担当：寿都町産業振興課 瀧山課長)

F A X：0136-62-3431

E-mail：-

U R L：-